



取り組み・現状



『名前のない母子をみつめて』

蓮田 太二 // 著 柏木 恭典 // 著 北大路書房 369/H39

日本初となる赤ちゃんポスト「こうのとりのゆりかご」を設置した病院理事長自身の回想から、ポスト誕生の背景に迫る。先行するドイツでの実態レポート、匿名・内密出産についても議論し、日本での母子支援のあり方を問い直します。

『未婚当然時代』

にらさわ あきこ // 著 ポプラ社 367/N78 (栄分館)

結婚したい人が結婚に至るにはなにをすればいいか、結婚しない場合の“絆”にはどのようなものがあるか。未婚者が増えた背景を探り、葛藤する男女の迷い、本音、現実にと迫ります。

『ルポ貧困女子』

飯島 裕子 // 著 岩波書店 367/I27

就職氷河期以降の若年層が抱える困難、いまだに根強い日本の男女差別。その両方を抱えながら、働くことも、結婚して子どもを産み育てることも期待されている今のアラフォー／非正規／シングルの女性たちの等身大の姿にと迫ります。

『なぜ、あの家族は二人目の壁を乗り越えられたのか？』

1more Baby 応援団 // [編] プレジデント社 599/N59

二人目をどうしようと思った時に読む本。“二人目の壁”を突破した夫婦へのインタビューやアンケート調査を通して、二人目を産み・育てるとはどういうことなのか、“二人目の壁”を突破するヒントはどこにあるのかを紹介します。

貸し出し中の場合はご予約できます。
また、分館からお取り寄せもできます。
カウンターまでお申し出ください。

女性問題 ブックリスト

2016年度 上半期購入分
三条市立図書館



女性と労働



『働くお母さんの楽しみ方』

西郷 美穂子 // 著 朝日新聞出版 590/S a 18 (栄分館)

3人の子どもたちを育てながら働く人気ブロガーが、働くお母さんの生活を丸ごと楽しむアイデアを紹介。帰宅後30分でできる1週間献立、キャラ弁の作り方、家事のこと、おうちパーティーレシピなどを収録。

『働くママと子どもの〈ほどよい距離〉のとり方』

榊原 洋一 // 監修 高石 恭子 // 編 柘植書房新社 367/H 4 2 (栄分館)

子どものなかには自分から育てゆく力があり、それを信じて子育てをすればよい。三歳児神話や母乳主義など数々の呪縛をぬぐい去り、ママが働いているからこそとれる、親子の「ほどよい距離」を成長別に提案します。

『女性活躍の教科書』

麓 幸子 // 編 日経BPヒット総合研究所 // 編 日経BP社 336/J 7 6

資生堂、ソニーなど女性が活躍する企業20社の経営戦略と奏功した人事施策を紹介。女性活躍を推進するために知っておきたいことなども解説します。

『WOMEN EMPOWERMENT 100』

ベッツィ トイチュ // 著 英治出版 367/Te9 1

「保健」「女の子と女性の健康」「暮らしを変えるエネルギー」など11のセクター別に、途上国の貧しい地域で暮らす女性たちのエンパワーメントに役立つツールを紹介。国際協力NGO3団体のスタッフによる特別座談会も収録。

『キャリアと出産』

大葉 ナナコ // 著 河出書房新社 366/O 1 1 (栄分館)

5児の母で3社の経営者である著者が、働く女性の置かれた現状やワーク・バランス・バランスの描き方、働く女性にやさしい企業の注目すべき取り組みを紹介。さらに、様々な制度とそれを利用できない風土といった課題を考えます。



みんなの生き方



『男子問題の時代?』

多賀 太 // 著 学文社 371/T a 17

「男性優位社会」日本における男の生きづらさとは。ジェンダー平等をめぐる教育現場での錯綜は男子に何をもたらすか。男子の学力不振、「男らしさ」の市場価値の下落等、男のあり方をめぐるパラドックスに迫ります。

『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』

青野 篤子 // 編著 ミネルヴァ書房 367/A 5 5

私たちの身近にあるジェンダーを読み解く力と、現代社会を生き抜く力を身につけるために役立つテキスト。生活にみられるジェンダーについて丁寧に解説する。学習者がジェンダーに気づき、理解していくための実習課題も収録。

『もっと知りたい!話したい!セクシュアルマイノリティ』 1~3

日高 庸晴 // 著 汐文社 36/H/1~3

ニュースなどに登場することも多くなったセクシュアルマイノリティについて、データを交えて紹介。セクシュアルマイノリティの具体的な解説、当事者や周囲の気持ちや意見、社会の取り組みなどを教えます。

『逃げたい娘 諦めない母』

朝倉 真弓 // 著 信田 さよ子 // 著 幻冬舎 367/A 8 5 (栄分館)

娘の気力を奪っていく母の支配からどう自分を守り、どうやって母との適正距離を作り直していくか。33歳・営業職の女性、瑠衣の物語をもとにいい娘をやめて、幸せな娘になるための7つの考え方と行動習慣を小説形式で紹介します。

『別れる?それともやり直す?カップル関係に悩む女性のためのガイド』

ランディ バンクロフト // 著 ジャク パトリッシ // 著 明石書店 367/B 1 7

パートナーの破壊的な行動に悩む女性のために、長年、共感の手を差し伸べてきた著者が現実を見分け、どのような選択をすればよいか、具体的なアドバイスをします。DVのグレーゾーンで苦しむ女性が自分の人生を生きるためのガイド。